

支援部だより



宮城県立支援学校小牛田高等学園
支援部
令和6年7月4日発行

相談できる専門機関を



生活全般の悩み

卒業後も

知っていますか？

「卒業した後人間関係や仕事の内容で相談したい」「卒業後はグループホームで暮らして、自立を目指したい」などの相談ごとに乗ったり、サポートしてくれるところがあります。在学中から関わっていると、卒業してから相談したいことがあるときにはスムーズに話ができることが多いようです。ぜひ卒業前に見学したり話を聞いてみたりしてください。



相談支援事業所

*各市町村に数か所あります。

生活する上で困ったことや悩みなど、生活全般についての相談ができます。これまでも「卒業後はグループホームで暮らして自立を目指したい。」「将来の一人暮らしに向けて、どんな準備をしたら良いか相談したい。」「休日の過ごし方がわからない。」「生活を見直したい。」「親と(子と)うまく話ができない。」「障害者基礎年金の手続きの仕方を教えてほしい。」「などの相談に対応していただいています。

事業所によって、相談支援、計画相談、地域移行支援、地域定着支援、18歳未満の計画相談等の事業を市町村から委託されており、内容によっては相談を受けられないこともあります。そんな時は、対応できる事業所を紹介してもらえます。相談したい事業所があれば、学校にご連絡いただくか直接事業所へご相談ください。



障害者就労・生活支援センター

*各領域に1か所あります。

仕事に関する相談支援や日常生活、社会生活に関する相談ができます。特に「職場での人間関係」「仕事の内容」などについて一緒に考え、対応をしてくれます。また、必要に応じて会社へ訪問し、担当者や本人と面談することもあります。さらに学校や様々な関係機関と連携し、本人(保護者)への支援や助言をしてくれます。

*4月に配布されております『進路ガイド』に詳しく掲載されておりますのでご覧になってください。

ちゅういりよく

ちようせん

注意力をつけるトレーニングに挑戦してみよう！！

注意力には様々な働きがあります。ある情報を選択し、その情報に注意を持続させたり、または他の情報に注意を切り替えたりするなど、学習のみならず生活する上で必要な力と言えます。注意力を高めることは学習への力を高めるだけでなく、人に興味を向ける、人の気持ちを考える、人と会話をするなどのコミュニケーション力や、自分で考えて行動する、さまざまな困った問題に対処するなどの問題解決といった学校生活にとって必要な力の向上に繋がります。

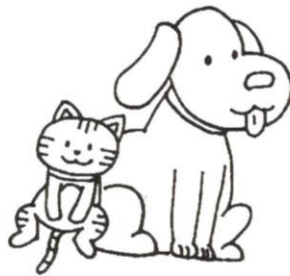
☆ **見る力をつけよう** ☆ 視覚情報の共通点や相違点を把握する力をつけることを目指します。

下の9枚の絵の中に全く同じ絵が2枚あります。その2枚を探してみてください。

①



②



③



④



⑤



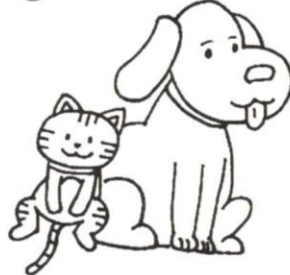
⑥



⑦



⑧



⑨



学習で必要になる図のパターンを認識する力、数字・記号の並びからあるパターンを見つける力、人の顔や表情を見分ける力を養うこと等に役立ちます。また単にやみくもに探すのではなく、効率よく探すのはどうすればいいか、など方略を考えるとといった練習にもなります。

引用:「1日5分! 教室で使えるコグトレ」